

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和1年8月15日(2019.8.15)

【公開番号】特開2017-60740(P2017-60740A)
 【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報2017-013
 【出願番号】特願2016-136987(P2016-136987)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/56 (2006.01)

A 6 1 C 13/003 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 5/56

A 6 1 C 13/003

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月5日(2019.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

保定装置システムであって、

上歯に当接するよう適合された上側保定装置であって、a)臼歯をカバーするよう適合されたほぼ平らで細長い下面と、b)前記ほぼ平らで細長い下面よりもさらに下方に延在する下ブロックであって、犬歯と第一小臼歯とをカバーするよう適合された下ブロックとを備え、前記上側保定装置の前記下ブロックは前記下側保定装置と当接しており、前記上側保定装置と前記下側保定装置との間に離間領域を同時に形成する上側保定装置と、

下歯に当接するよう適合された下側保定装置であって、臼歯とともに、犬歯ならびに第一および第二小臼歯をカバーするよう適合されたほぼ平らで細長い上面を備えた下側保定装置とを持つ、保定装置システム。

【請求項2】

前記下ブロックと前記ほぼ平で細長い上面との接触によって、前記上側保定装置および下側保定装置が互いに当接する、請求項1に記載の保定装置システム。

【請求項3】

前記臼歯および前記第二小臼歯に対応する領域で前記上側保定装置と前記下側保定装置との間に空間が形成される、請求項1に記載の保定装置システム。

【請求項4】

前記下側保定装置は、前記ほぼ平らで細長い上面に対して直交して延在する複数の翼をさらに備える、請求項3に記載の保定装置システム。

【請求項5】

前記複数の翼は、前記ほぼ平らで細長い下面に対して直交する前側で、外方に突き出した複数の側面ブロックのそれぞれに当接する、請求項4に記載の保定装置システム。

【請求項6】

前記上側保定装置と前記下側保定装置との各々のワイヤーは、少なくとも前記切歯をカバーする、請求項5に記載の保定装置システム。

【請求項7】

前記下ブロックは後側面を有し、前記後背面は、前記下ブロックの下側に対して直交す

るまたはほぼ直交する、請求項 1 に記載の保定装置。

【請求項 8】

前記下側保定装置から前記上側保定装置の方に延在する複数の翼であって、前記上側保定装置の外側にある複数の側面ブロックのそれぞれに当接するよう適合された複数の翼をさらに備えた、請求項 1 に記載の保定装置。

【請求項 9】

当接する上側保定装置および下側保定装置を持つ保定装置システムであって、

前記上側保定装置の領域と前記下側保定装置の領域との間の離間領域であって、前記上側保定装置および下側保定装置がカバーするよう適合された歯の臼歯に対応するように構成された離間領域と、

前記保定装置システムの複数のある領域における前記上側保定装置と前記下側保定装置との間の複数の接触点であって、前記上側保定装置および下側保定装置がカバーするように適合された前記歯の前記臼歯に対応する前記上側保定装置の領域と前記下側保定装置の領域との間に前記離間領域が延在する場合に、前記上側保定装置および下側保定装置が接触する場所である第一小白歯に対応するよう構成された複数の接触点とを持つ、保定装置システム。

【請求項 10】

前記離間領域は、第二小白歯に対応する領域をさらに備える、請求項 9 に記載の保定装置システム。

【請求項 11】

前記複数の接触点は、前記犬歯に対応する複数の領域をさらに備える、請求項 10 に記載の保定装置システム。

【請求項 12】

前記下側保定装置は、上下に延在した複数の翼をさらに備える、請求項 11 に記載の保定装置システム。

【請求項 13】

前記上側保定装置は、前記離間領域において外方に延在する複数のブロックをさらに備え、前記複数のブロックのそれぞれはほぼ平らな前面を持つ、請求項 12 に記載の保定装置システム。

【請求項 14】

前記複数の翼のそれぞれの翼は、前記複数のブロックの 1 つのブロックのほぼ平らな前面に当接する、請求項 13 に記載の保定装置システム。

【請求項 15】

前記上側保定装置の前記複数の接触点は、前記上側保定装置の残り部分よりもさらに下方に延在しているブロックにおいて、前記上側保定装置の最下端にある、請求書 9 に記載の保定装置システム。

【請求項 16】

2 つのほぼ平らで細長い表面のうち 1 つの上にある前記下側保定装置の前記複数の接触点は、ワイヤーから臼歯に対応する領域まで延在している、請求項 15 に記載の保定装置システム。

【請求項 17】

前記離間領域は、前記上側保定装置と前記下側保定装置との最も後方の接触点で終わる、請求項 9 に記載の保定装置。